

医療的ケア児に付き添う母 「通学したい」かなえたくて

有料会員記事

山下剛 2021年1月10日 17時00分

「あしたの給食は何だろう」

茨城県の水戸特別支援学校中学部3年の杉山あんじさん(15)は、学校に行くのが大好きな女の子だ。その代わり、母親の美香さん(37)が常に教室で付き添うことを求められている。あんじさんが人工呼吸器を使っているからだ。

生まれつきアイセル病という先天性代謝異常があるあんじさん。身長も1メートルほどで、目が大きい。言葉を読むことはできるが、移動は車いす。特別支援学校の小学部に入学する前に呼吸不全を起こして気管切開し、その後、人工呼吸器を使っている。



杉山美香さんと娘のあんじさん=本人提供

